

未来へつながるまち「田辺市」を目指して ～1000年をつなぐ熊野の保全と継承～

和歌山県田辺市（2022年度選定）

1. 地域の特徴と課題及び目標

紀伊半島の南西側、和歌山県の南部に位置し、総面積1026.91km²に及ぶ近畿最大の行政区域を有する。西よりの海岸部に都市的地域を形成するほかは、森林が大半を占める中山間地域が広がっており、人口は約7万人。地域資源として、世界文化遺産『紀伊山地の霊場と参詣道』と世界農業遺産『みなべ・田辺の梅システム』の2つの世界遺産を有するまちである。

豊かな自然資源や文化的景観を有する一方で、人口減少、後継者不足等の課題があり、次世代へ熊野を継承することが困難な状況である。こうした課題解決のため、次世代を担う人材の育成と域内外の多様な人々との関わりを生み出す取組を行い、熊野の森林や地域の産業、そして地域の人々の暮らしを守り、未来につながる「まち」を実現する。

2. 関連するゴール



3. 取組の概要 (三側面をつなぐ統合的取組概要を含む)

1000年以上にわたる人と自然の営みにより形成された熊野が、人口減少に伴う担い手不足や地域力の低下といった課題に直面する中、熊野古道をはじめとする自然資源の保全・活用、次世代を担う人材の育成、地域コミュニティの再生等に取り組むことで、熊野をさらに1000年先へとつなぐ『未来へつながるまち「田辺市」』を目指す。

4. 自治体SDGs推進等に向けた取組

『熊野の未来を拓く、ひとづくりプロジェクト』

- ① **森を育て、森を守る担い手づくり**
～「森林の育てびと」育成・確保対策事業～
- ② **地域企業と連携した持続可能な社会の創り手づくり**
～森林環境教育プログラム開発事業～
- ③ **地域にコミットするローカルイノベーターと関係人口づくり**
 - たなべ未来創造塾
 - 熊野REBORN PROJECT
 - こところば
 - たなコトアカデミー

6. 取組成果

- ① **「森林の育てびと」育成・確保対策事業～**
→選定2業者に森林整備事業を優先配分し、新規就業者4名を確保
- ② **森林環境教育プログラム開発事業**
→市内8小学校にて導入（受講児童数182名）
- ③ **地域にコミットするローカルイノベーターと関係人口づくり**
 - たなべ未来創造塾：1～8期修了生の実行率63.1%（60件/95名）
 - 熊野REBORNPROJECT：4期47名
 - こところば：6期68名
 - たなコトアカデミー：5期67名

5. 取組推進の工夫

地域人材と関係人口、あるいは関係人口同士の交流を促進し、副業や兼業などを通じた新たな共創へとつなげるため、交流プラットフォーム（WEBサイト「わたしたちの、たなべ」・Facebookコミュニティページ「田辺人（たなべびと）」を開設。

7. 今後の展開策

たなべ未来創造塾修了生のビジネス実行率を高めるとともに、持続的な取組にしていいため、中間支援機能の整備や、修了生による自主組織のさらなる充実、発表したプランのブラッシュアップの機会創出などについて検討するとともに、すでに実行している事業についてもレベルアップができるよう、「関係人口創出事業」で関わった都市圏の企業や個人とのつながりを構築していく。

8. 他地域への展開状況 (普及効果)

本市の地域にコミットするローカルイノベーターと関係人口づくりの取組については、メディア掲載・視察受入・講演等(R5:約150件 (株)ソマノベース「MODRINAE」/Yahoo! JAPAN SDGs掲載、内閣府、中小企業庁視察受入、日本商工会議所青年部全国大会分科会での講話等)によって、国内各地に普及展開している。また、国内8都市でも姉妹塾が創設されていることから、ローカルtoローカルの連携も強化していく。